

2級 (F)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
み	ひ	た	お	た	は	お	あ	し	は	たい	ち	き	こう	き	は	し	そう	おう	か	ち	き	り	せ	ゆう	し	ひ	る	え	し
じ	ぶ	む	ぼ	わ	か	しい	わ	いた	う	いせき	ょうじ	ょうほん	きょう	んせい	んか	んぎ	りよう	せい	どう	ようもん	んしゅう	ぜん	ちゅう	たい	やく	ろ	ふ	しゃく	つぼく

1×30 (30)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
オ	ウ	エ	ウ	イ	ア	エ	ア	ア	イ

2×10 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
車	又	口	瓦	豕	隶	宀	石	羊	シ

1×10 (10)

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
イ	ア	ク	コ	ウ	意味	先	破	傍	薄	妖	鉄	百	以	暮	迅	書き取り
						憂	邪	若	志	怪	壁	遍	徳	改	雷	

2×5 (20)

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
重	江	拘	梗	伯	白	支	師	河	寡
		束	塞	仲	昼	障	匠	川	占

2×10 (20)

(六) 同音・同訓異字

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
傘	捻	脈	浴	駆	罷	栽	酷	暗	稚
下	出	絡	槽	逐	免	培	寒	愚	拙

2×10 (20)

(五) 対義語・類義語

5	4	3	2	1
快	清	打	卵	痕
拳	澄	診	巢	跡

2×5 (10)

(九) 書き取り

5	4	3	2	1
翻	擦	疎	携	紡
っ	れる	い	え	が

2×5 (10)

(八) 漢字と送りがな

5	4	3	2	1
健	状	訓	環	到
堅	壊	勲	還	騰

2×5 (10)

(七) 誤字訂正

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
蛇	沈	蹴	洪	契	懷	諭	辛	汚	刃	棟	手	懸	富	狙	羨	詰	圧	絞	艦
	黙										際	念	貴	撃	望	問	搾	首	隊

(下へつづく)

準2級

(F)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
は と ば	く ら	く さ	た づ な	く	ほ り	か	お ち い	い や	べ つ わ く	こ う り よ う	そ ぞ う	じ ん そ く	か い ぼ う	ふ よ う	も ぎ	じ よ く ん	か ん ぷ	さ し よ う	ゆ い び	ま す い	か も く	い っ こ ん	け つ ぶ つ	せ つ れ つ	き よ う ゆ	ま っ ち ゃ	し ゅう せん	へ い こ う	は ん ぷ

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	オ	ア	エ	イ	ウ	ア	イ	ウ	エ

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
齊	足	口	尸	虍	虫	イ	一	宀	門

(二) 部首 (10) 1×10

15	14	13	12	11	問2 意味
キ	ク	イ	カ	ア	

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

(四) 四字熟語 (30) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1 書き取り
薄	刻	鋭	専	碎	躍	扱	罰	我	孤	

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
凝	懲	培	媒	呉	娛	余	与	克	酷

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
妥協	考慮	午睡	調和	負債	閉鎖	崇拜	簡略	喪失	湿润

5	4	3	2	1
銃声	恒久	疎外	起伏	下弦

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
難しい	踏まえ	赴い	渋る	駆ける

(ハ) 漢字と送りがな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
証	査	棒	邸	順	誤
償	唆	膨	廷	巡	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
背	乏	妨	獣道	泡	振	塩漬	誓	竜巻	誇張	迎合	偽造	報酬	伴奏	素朴	羅列	漂流	症状	耐熱	分泌

3級

(F)

(一) 読み

(30)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
う	た	も	お	く	っ	あ	ほ	か	す	げ	あい	し	き	か	さ	ほう	と	せ	た	て	ひ	し	さ	え	く	あい	し	き	か
わ	ず	お	お	わ	の		が	ね	も	ん	が	ぎ	く	う	く	こう	く	しょう	い	け	ょう	ん	び	つ	じ	ぞ	ゃ	い	き
1×30																													

(二) 同音・同訓異字

(30)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
オ	イ	ウ	エ	ア	イ	イ	オ	ア	ウ	オ	エ	エ	イ	オ
透	刷	擦	踊	揺	擁	巧	郊	甲	鎮	陳	沈	粹	酔	推
2×15														

(四) 熟語の構成

(20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	エ	ウ	ア	オ	イ	ア	イ	エ	ウ
2×10									

(六) 対義語・類義語

(20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
基	早	弁	没	閉	減	守	練	滞	追
2×10									

(八) 四字熟語

(20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
応	来	不	直	努	理	熟	感	夏	意
変	歴	落	入	力	路	慮	慨	炉	気
2×10									

(十) 書き取り

(40)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
湯	倒	控	指	伏	我	狭	摘	文	免	平	敬	覚	円	伸	選	粘	詳	凝	赴
冷			輪					房	許	穩	服	悟	滑	縮	択	土	細	固	任
2×20																			

(三) 漢字識別

(10)

5	4	3	2	1
ク	キ	オ	ウ	コ
敢	塗	鑄	悦	諾
2×5				

(五) 部首

(10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
工	工	イ	ア	ア	エ	イ	ウ	ア	ウ
鳥	貝	几	小	牛	之	匚	四	革	衣
1×10									

(七) 漢字と送りがな

(10)

5	4	3	2	1
削	凍	群	厳	訴
る	え	がる	かな	え
2×5				

(九) 誤字訂正

(10)

5	4	3	2	1	
制	喚	回	微	働	誤
勢	緩	改	備	導	正
2×5					

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

4級 (F)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
しばふ	は	とうげ	はしわた	のが	に	つばさ	おそぎ	と	ふち	ががく	ふじょう	ないじゅ	せんす	ついおく	ぎよく	れっか	らんかん	ふうち	ばきやく	いほう	へきが	とろ	おめい	かよう	さんじょう	したく	きゅうれき	くのう	えんじん

(一) 読み (30) 1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ刈	オ駆	ウ狩	ウ針	オ慎	エ侵	イ襲	オ執	ア周	ア美	ウ微	イ尾	ウ稿	エ攻	オ荒

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
キ屈	イ撃	ウ淡	エ儀	ケ販

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ言	イ又	ア舛	エ豕	ア广	ア行	エ頁	ウ𪛗	イ彡	イ片

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	オ	ア	イ	ア	ウ	エ	ア

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

5	4	3	2	1
親しん	捕まる	跳ねる	沈め	望ましい

(七) 漢字と送りがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
格	従	黙	剣	比	鈍	調	面	泊	絶

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	
仕	高	飾	研	快	誤
飼	向	触	検	介	正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
名	石	紫	起	頭	肉	口	威	矛	多

(八) 四字熟語 (20) 2×10

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
訪	米俵	肩	人影	互	透	幅	詰	素質	区域	騒動	腕力	確保	大砲	仮眠	更新	密接	一般	趣味	招待

(十) 書き取り (40) 2×20

第2回 日本漢字能力検定 標準解答

5級

(F)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
わ	き	せ	さん	せい	も	しょう	とた	ち	けん	す	は	けい	き	した	しか	ほ	と	い	な
れ	り	お	ん	みつ		う	う	よめ	ばい	が	い	い	ぬ	た	か	ね	ど	さん	み
	つ	よ	ぴ	つ		じ	と	い	いき	た	く	う		が	い	み		き	

(一) 読み

(20)

1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
12	8	13	12	10	7	16	13	5	3

(三) 画数(算用数字)

(10)

1×10

(二) 部首と部首名記号

(10)

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	ア	エ	ア	イ	エ	イ	ウ	ア	ウ

(五) 音と訓(記号)

(20)

2×10

(四) 漢字と送りかな(ひらがな)

(10)

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
寸	朗	将	担	域	疑	私	亡	就	垂

(七) 対義語類義語(一字)

(20)

2×10

(六) 四字の熟語(一字)

(20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
窓	装	供	備	候	孝	拡	確	戦	専

(十) 同じ読み漢字

(20)

2×10

(九) 熟語の構成(記号)

(20)

2×10

(八) 熟語作り(記号)

(10)

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
宝	射	憲	映	星	鉄	卵	忠	奮	卷	推	傷	冷	討	磁	預	土	巖	腹	染
		法		座	棒		実		末	理		蔵	論	石		俵			

(十一) 漢字

(40)

2×20

6級

(F)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
な	ゆ	と	せ	か	こ	が	れ	き	い	し	や	さ	じ	ま	あ	せ	て	や	た
さ	そ		いた	ま	くさい	く	し		きお	ぞく	さ	くら	ぎよう	よ	らわ	ぞく	き	ぶ	

(一) 読み
(20)

1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
力	ク	糸	工	々	キ	厂	ケ	イ	才	述	余	快	暴	宮
										べる	る	く	れる	む

(二) 漢字と送りかな
(10)

2×5

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	ウ	エ	ア	エ	ウ	ウ	ア	イ	15	12	7	6	14	6	8	5	7	3

(四) 画数(算用数字)
(10)

1×10

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
因	独	留	職	素	精	応	散	復	過	逆	統	率	非	能	提	得	液	術	再

(六) 三字のじゆく語(一字)
(20)

2×10

2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
加	価	可	支	飼	写	移	謝	舎	エ	ア	イ	ウ	ア	エ	イ	ア	ウ	ウ	ア	ウ	コ	オ	エ	サ

(八) じゆく語作り(記号)
(12)

2×6

2×10

2×9

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
仏	食	雑	防	禁	燃	演	弁	保	内	豊	準	限	建	幹	災	編	画	張	寄
	堂	草		止			当		容		備		設		害		像		

(十) 漢字
(40)

2×20

7級 (F)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一) 読み
りようやく	しぜん	あんないず	ちやくりく	かんぜん	つ	はいち	じゅんばん	じどう	おぼ	まと	な	たね	がつき	あ	とくさんひん	なわ	ぶんるい	お	はたら	(20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 漢字えらび(記号)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 読み
ウ	ウ	ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ	ウ	(20) 2×10	つた	でんき	か	へんか	み	まんいん	くわ	さんか	ひ	れいせい	(10) 1×10

5	4	3	2	1	(六) 対義語(二字) (10)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五) 音読み・訓読み(記号) (20)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 画数(算用数字) (10)
争 健 無 利 末						ア イ イ ア イ ア ア イ イ ア											総画数					何画目					
																	12 13 9 10 9					4 5 1 18 6					
2 × 5										2 × 10					1 × 10												

ウ				イ			ア			(ハ) 同じ部首の漢字	7	6	5	4	3	2	1	(七) 漢字と送りかな(ひらがな)
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(20) 2×10	浴びる	必ず	失う	欠ける	固く	治る	改める	(14) 2×7
達	辺	連	選	借	側	仲	芸	芽	菜									

五		四		三		二		一		(十) 同じ読み(記号)	8	7	6	5	4	3	2	1	(九) 同じ読み(漢字)
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(20) 2×10	票	標	清	省	量	料	唱	照	(16) 2×8
エ	イ	ウ	ア	オ	ウ	オ	イ	ア	エ										

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(十一) 漢字
努	建	熱	漁	隊	老	景	鏡	焼	松	好	札	浅	散	兆	極	笑	関	輪	続	(40) 2×20

(一) つぎの―線の漢字の読みがなを―線の右に書きなさい。

(30
1×30)

- 校庭のコスモスが風にゆれている。
- 本だから国語辞典を取り出す。
- きれいな夕やけ空を見て感動した。
- たいこを二本のばちで打ち鳴らす。
- ごちそうを味わって食べた。
- 友だちの考えに反対する理由を話す。
- ボートが波を受けて左右にゆれた。
- 冬は夏にくらべて昼が短い。
- 坂をかけたが、息が苦しくなった。
- 木々の緑が赤や黄色にかわる。
- 学期のはじめに席がえをした。
- 黒板に書かれた詩をノートに写す。
- 学校で歯科けんしんを受ける。
- この海岸は夕日の美しさで有名だ。
- 図書室でグリム童話の本をかりる。
- 文章を読んで要点をまとめる。
- 高速船に乗って島にわたった。
- 図かんが理科の勉強に役立った。
- 大雨で道路が水びたしになった。
- おやつ時間にココアを飲んだ。

庫 薬 始 農 路
事 歯 送 有 員

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに書きますか。○の中に数字を書きなさい。

(10
1×10)

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいのいみのことばにしなさい。

(10
2×5)

始まる ― (終) わる
たて書き ― (横) 書き
軽い ― (重) い
全体 ― (部) 分
ねる ― (起) きる

(四) おなじなかまの漢字を○の中に書きなさい。

(20
2×10)

こころ 感想・注意
ごんべん 下調べ・相談
(言) 返す・運動会
しんにょう
(え) 口笛・本箱
たけかんむり
(み) 旅行・家族
かほうへん
(方)

うらへつづく

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

(五) つぎの(一)の中に漢字を書きなさい。

(20
2×10)

昼休みにさか上がり(練習)をした。
公園に(集)合してサッカーをする。
秋田(県)は米作りがさかんだ。
おじは大学の(研)究をしている。
野(球)の試合でヒットを打った。
母は(急)用ができて朝早く出かけた。
林のけががなあって(安)心した。
三けたの数のたし算を(暗)算でする。
新しく(開)店したレストランに行く。
五(階)のまどから遠くの山を見る。
(六) つぎの―線のカタカナを○の中の漢字を(10
2×5)
おくりがなひらがなで○の中に書きなさい。
へれい(大) オオキイ花がさく。 大きい
1 流 マラソン選手(選手)の顔にあせがナガレル。
2 泳 水そうの中を金魚が泳ぐ。
3 悪 天気(悪)のワイルド日がつづいている。
4 温 ふろに入って体をアタメル。
5 転 ボールが坂道をコログル。
転がる
温める
悪い
泳ぐ

(七) つぎの―線の漢字の読みがなを―線の右に書きなさい。

(10
1×10)

今年も去年と同じスキー場へ行く。
二羽のはとが西の空へ去(き)っていく。
むずかしい問題がテストに出た。
しっかり考えて先生の問いに答える。
商店がいの福引きで一等が当たった。
リボンを等しい長さに切る。
たまった古新聞を整理する。
かがみを見て身なりを整える。
海岸線にそって国道が走っている。
小川の岸べに美しい花がさいた。
(八) つぎの○の中に漢字を書きなさい。(40
2×20)
1 主人公の少年と少女が青い鳥をさがす。 物 語を読んだ。
2 遠足のバスは予定より五分おくれて出た。
3 主 人公の少年と少女が青い鳥をさがす。 物 語を読んだ。
4 予 定より五分おかれて出た。
5 発 した。

宿 題をすませてから、友だちと近くの公園で遊んだ。
朝日にてられ、湖の表面がきらきらとかがやく。
地区のお年よりから、昔の町の祭りの行列が社を出て町内を練り歩く。
世 界でいちばん高い山にいつか登ってみたい。
8 でき上がった料理を皿にもりつける。
9 つばめは寒い冬が来る前に南の国に向かう。
10 電車(電)の名前が、漢字とローマ字の両方(両)で書いてあった。
お わ り

(一) つぎの文をよんで、——— さんの漢字の(22)1×22
よみがなを——— さんの右にかきなさい。

1 今日の野きゅうのしあい
午後二時にはじまる。

2 スーパーでくじを引いたら
おかしが当たった。

3 弟は、やっと自分の名前が
言えるようになった。

4 わたしのへやは南のまどから
太ようの光が入って明るい。

5 算数のテストがあった。
チャイムが鳴るまで答えの

6 学校から帰るとき、空に黒い
雲が広がって雨がふってきた。

7 音楽の時間にみんなて声を
合わせて「タヤケコヤケ」を

歌った。

(二) つぎの漢字のふたひとはなんぼんに
かきなさい。○の中にうろ字をかきなさい。

肉 活 紙 茶 友
3 5 7 6 2
室 地 通 親 雲
9 6 10 16 12

(三) □にひらがなを一字かいてつぎの
ことばのよみをこたえなさい。

野原 …… のはら
室内 …… しつない
生活 …… せいかつ
白鳥 …… はくちよう
風力 …… ふうりよく

(四) ○のころは、はねるか、とめるか、
正しいかきかたで○の中にかきなさい。

まがり角 工作
やさしい心 市場

(五) つぎの文をよんで、——— さんの漢字の
よみがなを——— さんの右にかきなさい。

遠足の日早く目がさめた。
遠くの山の上に月がうかがふ。

父はバスで会社に行く。

町で先生にばったり会った。

少年がぼうけんのたびに出る。

ごはんを少しおかわりする。

大きくなったら船長になりたい。

直線の長さをものさしてはかる。

ゆめいいな画家の絵を見る。

大工さんが家をたてている。

——— うらへつづく ——

(六) つぎの漢字のひらがなを漢字で
はくごどどちらが正しいですか。正しい
ほうのばんごうに○をつけてなさい。

1 話しかた 1 話し方
2 話し方
かい水 1 海水
2 毎水
北とう 1 北車
2 北東
らい週 1 米週
2 半週
夜みせ 1 夜店
2 夜点
空き 1 空汽
2 空気

(七) れいのようにおなじな漢字を
□の中にかきなさい。

四組 細い糸
雪だるま 電線
兄さん 火の元
日曜日 晴れ
頭 うれしい顔

(八) つぎの□の中に漢字をかきなさい。

父 母 弱い 強い
春 秋 ひくい 高い
麦 米 買う 売る
月 星 走る 歩く
馬 牛 のむ 食べる

(九) つぎの文をよんで、□の中に漢字を
かきなさい。

1 大きな船にのって 外国へ
行ってみた。
2 お寺のにわの池で
こいがおよいでいた。
3 夏休みに、かみの毛を
みじかく切った。

4 妹は、ふみ台にのって

戸だなのコップを出した。

5 町の図書館で

魚の絵本をかりた。

6 古い新聞や本を

せい理して、ひもで

7 学校の近くの林で、

黄色い羽の

ちようを見た。

8 交番のおまわりさんに

どうぶつ園までの道を

教えてもらった。

——— おわり ——

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

1 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみをかきなさい。
みきに かきなさい。

1 小さな犬をだいた

男の子が、ふん水の

まえに立っている。

2 うんどうかいの玉入れは

赤ぐみのほうが三こ

おおく入った。

3 正しいかきじゆんで

かん字をかく。

4 草はらて見つけた虫の

名まえを先生に

おしえてもらった。

先 七 火 手 青 年
5 1 2 3 6 2

貝 水 草 林 円 赤
7 4 9 8 4 7

2 つぎの かん字の ふといところは
なんばんめにかきますか。○の
なかに すう字を かきなさい。

カ いっぱい はしる。

ゴールを 目ざして

6 マラソンのせん手が

さかなつりをした。

5 天気 のよい日に川で

3 つぎのぶんをよんで、———の かん字の
よみをかきなさい。
みきに かきなさい。

あさ 九じのパスにのる。

どんぐりを 九つ ひろった。

月よう日にはいしやへいく。

月がくもにかくれる。

わたしは 水えいがとくいだ。

バケツに 水を入れてはこぶ。

ねん土で うさぎをつくった。

スコップで 土をほりおこす。

——うらへつづく——

4 つぎの ことばの よみがなを だし
ほうの ばんごうに ○を つけなさい。

1 百さい ① ひやくさい
② ひやくさい

2 左右 ① さゆう
② さいう

3 大小 ① だいしよ
② だいしよ

4 六本 ① ろつぽん
② ろつぽん

5 名人 ① めいじん
② めいじん

5 ① に ひらがなを 一字 かいて つぎの
ことばの よみを ことえなさい。
(れい) ふじ山……ふじさん

男女……だんじよ

竹やぶ……たけやぶ

休日……きゆうじつ

青空……あおぞら

年上……としうえ

6 つぎの □ の なかに かん字を かきなさい。

赤……白 はり……糸

草……花 百円……千円

目……口 くもり……雨

え……文 おそい……早い

いわ……石 上がる……下がる

1 とおくの 山に 夕日

しずんでいく。

2 タンプリンの 音に

あわせて 足ぶみをする。

3 村の 人が 田んぼで

いねかりをしている。

4 げきで 王さまの やくを

したとき、金いろの

かんむりをかぶった。

5 森の 中で そと

11 耳を すますと、とりの

6 かぞく 四人で 車に

のって、となり 町の

デパートに 出かけた。

7 学校の さくらの

18 木は 五十年まえに

うえられたそうだ。

——おわり——